

『精神科医×薬剤師クロストークから読み解く精神科薬物療法』訂正表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。当該書籍に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■「治療薬 02. 抗うつ薬」 p. 45

表 1 主な抗うつ薬の副作用，相互作用における比較

下記の表に変更いたします。

表1 主な抗うつ薬の副作用，相互作用における比較

		抗コリン作用 ^{*1}	胃腸症状 ^{*2}	過鎮静 ^{*3}	不眠・焦燥 ^{*4}	性功能障害 ^{*4}	起立性低血圧 ^{*5}	体重増加 ^{*5}	過量での致死性 ^{*7}	CYP 阻害作用	Pgp 阻害作用
SSRI	フルボキサミン	+	+++		+	+			低	強(1A2,2C19)	弱
	○パロキセチン	+	++	-	++	++	-	+	低	強(2D6)	強
	○セルトラリン	-	++	-	++	++	-	-	低	弱~中(2D6)	強
	○エスシタロプラム	-	++	-	++	++	-	-	低	弱	弱
SNRI	○ミルナシبران	-	++	-	++	++	-	-	低	弱	不詳
	○デュロキセチン	-	++	-	++	+	-	-	低	中(2D6)	弱
NaSSA	★ミルタザピン	-	-	++	-	-	+	++	低	弱	弱
5-HT _{2A} 遮断薬	★トラゾドン	-	+	++	-	++	+	+	低	不詳	不詳
四環系抗うつ薬	★ミアンセリン	+	-	++	-	-	+	+	低	不詳	不詳
	★マプロチリン	++	-	++	-	+	++	++	高	不詳	不詳
三環系抗うつ薬	★アミトリプチリン	+++	-	+++	-	+	+++	+++	高	強(2C19)	不詳
	イミプラミン	++	-	+	++	+	++	++	高	強(2C19)	不詳
	クロミプラミン	+++	+	+	+	++	++	++	中	強(2C19)	不詳
	ノルトリプチリン	+	-	+	+	+	+	+	高	弱	不詳
	アモキサピン	+++	-	+	++	+	+	+	高	不詳	不詳

*1 M₁・M₂遮断 *2 5-HT₂刺激 *3 α₁・H₁・5-HT_{2A}遮断 *4 5-HT₂刺激

*5 α₁遮断 *6 H₁・5-HT_{2C}・D₂遮断 *7 M₂・α₁遮断・キニジン様作用

注) ○：非鎮静系薬，★：鎮静系薬

(WFSBPガイドライン(2007)および吉田，渡邊，ミルタザピンのすべて(2012)を参考に作成)

変更点：

【誤】パロキセチン，セルトラリン，エスシタロプラム，ミルナシبران，デュロキセチンの★

【正】○（非鎮静系薬）に変更

【誤】ミルタザピン，トラゾドン，ミアンセリン，マプロチリン，アミトリプチリンの○

【正】★（鎮静系薬）に変更

【誤】イミプラミン，アモキサピンの★

【正】無印に変更

■DIEPSS について

本書におきまして，薬原性錐体外路症状評価尺度（Drug Induced Extra-Pyramidal Symptoms Scale ; DIEPSS）の参照頁の記載がございますが，DIEPSS の表を掲載致しませんので，下記のように訂正致します。

「症例 01. 再燃と入退院を繰り返した統合失調症の患者」 p.66 14 行目

【誤】錐体外路症状については今後 DIEPSS（参照 p.40）で評価していきます。

【正】錐体外路症状については今後 DIEPSS で評価していきます。

「症例 02. 抗精神病薬投与による高プロラクチン血症と乳汁漏出に悩んだ患者」 p.75 8 行目

【誤】近年，抗精神病薬の副作用への啓発がすすんだことで医師は DIEPSS（参照 p.40）等の普及によって…

【正】近年，抗精神病薬の副作用への啓発がすすんだことで医師は DIEPSS 等の普及によって…

「症例 01. 再燃と入退院を繰り返した統合失調症の患者」 p.79 下から5行目

【誤】先ほど患者さんに服薬指導を行った際に、DIEPSS（参照 P.40）も行ってきました。

【正】先ほど患者さんに服薬指導を行った際に、DIEPSS も行ってきました。

■「症例 02. 抗精神病薬投与による高プロラクチン血症と乳汁漏出に悩んだ患者」 p.70

Rp. 1 乳汁漏出訴え時

【誤】

①セレネース（ハロペリドール）錠（3mg） 1回2錠 1日2回 朝夕

②リーゼ（クロチアゼパム）錠（5mg） 1回1錠 1日2回 朝夕

③レンドルミンD（ブロチゾラム）錠（10.25mg） 1回1錠 1日1回 就寝前

④ナウゼリン（ドンペリドン）錠（10mg） 1回1錠 嘔気時

【正】

①セレネース（ハロペリドール）錠（3mg） 1回2錠 1日2回 朝夕

②リーゼ（クロチアゼパム）錠（5mg） 1回1錠 1日2回 朝夕

③レンドルミンD（ブロチゾラム）錠（0.25mg） 1回1錠 1日1回 就寝前

④ナウゼリン（ドンペリドン）錠（10mg） 1回1錠 嘔気時

2022年3月16日現在